

ぐるり39

～自治調査会だより～

2019
8

NO. 071

[発行日]
2019.8.1



【写真提供】御蔵島村 【撮影場所】稲根神社・バイキング号記念碑

- ▶ 目指せ金メダル！がんばれ！小山恭輔さん① 2
- ▶ 理事会・評議員会を開催しました 4
- ▶ オール東京62市区町村共同事業
みどり東京・温暖化防止プロジェクト市町村助成事業紹介 5
- 武蔵村山市 地球環境保全ポスター・標語コンクール
- 多摩市 多摩市版クールシェア事業
- 八丈町 檜立・中之郷・末吉地域花いっぱい運動推進事業
- ▶ 多摩交流センターだより
 ・多摩発・遠隔生涯学習講座8・9月開催予定の講座案内 6
- ・東京雑学大学9月講義案内 6
- ・「多摩の歴史講座」（第23回）
 旧石器時代から縄文時代へ～環境の変動と人々の適応～ 7
- ・TAMA市民塾 市民講師募集 8
- ・広域的市民ネットワーク活動助成事業紹介 8
- 第3回多摩地区26市町対抗囲碁団体戦
 檜原村 郷土芸能お祭り見学会
- ▶ とっておきの島しょの土産 ～御蔵島～ 9
- ▶ 編集後記 9
- ▶ とっておきフォトスポット ～御蔵島村～ 10

Contents

8月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会

目指せ金メダル! がんばれ! おやまきょうすけ 小山恭輔さん①

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催が来年に迫っています。パラスポーツは、まだ知られていない魅力がたくさんあります。当調査会では、多摩・島しょ地域におけるパラリンピックをより一層盛り上げるため、パラ競泳選手である小山恭輔さん（東久留米市在住）を8・9月号の2回にわたって紹介します。

本号では、小山さんがパラリンピックを目指すようになったきっかけや、競技の魅力について紹介します。

日本人選手の活躍で気持ちが動いた

——パラリンピックを目指すようになったきっかけはなんですか。

5歳からジュニアオリンピックを目指して水泳を習っていました。中学2年生の時に脳梗塞となり、右半身が麻痺した後も、「プールに戻ってこい」と言われて水泳を続けていました。ただその時はリハビリの延長線上という気持ちで、パラリンピックに出ようという思いは全くありませんでした。

それが、2004年のアテネ大会で、自分と同じような障害を持つ日本人選手が競泳で活躍しているのをテレビで見て、「もしかしたら自分にもチャンスがあるのでは?」と漠然と思うようになりました。

それから本格的に練習を開始し、2007年の国内大会では当時の世界ランキング6位と同じくらいのタイムが出て、「これならパラリンピックを目指すかも!」と思い、より一層練習に取り組みました。

その瞬間を見てほしい

——競技の魅力や注目してほしいところはなんですか。

泳いでいる時の水しぶきを見てほしいです。

それから、選手の感情が生まれる瞬間。ベストタイムが出た時の喜びや、悔しがっている表情でも、その選手の人間らしさが生まれる瞬間にぜひ注目してください。

魅力を知ってもらおう意味では、まず応援する選手を探してほしいです。自分の好きな競技の選手や、かっこいいと思う選手など、注目する選手の試合を見ることで、競技の面白さや奥深さがわかってくると思います。

それが自分であったら嬉しいし、今回のインタビューでそうなればいいなあ（笑）。



おやまきょうすけ
小山恭輔さん

1987年生まれ。東久留米市在住。
日鉄パイプライン&エンジニアリング株式会社所属。
父、母、弟と4人家族。

2008年	北京パラリンピック	銀メダル
2012年	ロンドンパラリンピック	銅メダル
2016年	リオパラリンピック	5位

※いずれも種目は50M/バタフライ



【競技紹介】パラ競泳

障害の種類や程度、運動機能などによりクラス分けされているよ。ルールはオリンピックとほとんど同じだけど、選手の障害にあわせて、スタート方法などが一部変更されるんだ。小山選手は現在、50M/バタフライのS7というクラスに所属しているよ。

——アスリートとして、普段の生活で気をつけていることはありますか。

早寝早起きをして、生活リズムを崩さないようにしています。夜11時に寝て、朝6時に起きるようにしています。朝一番で近所の喫茶店に行き、本を読むこともあります。

突然のクラス変更、それから・・・

——競技をされていてくじけそうになることはありますか。

ちょうど去年にありました。パラリンピックの競泳は、障害の重さに応じてクラス分けがされます。以前はS6というクラスでしたが、去年6月のクラス分けで、1つ症状が軽いS7ランクになりました。

具体的に何が変わるかと言うと、選考基準が2秒速くなります。50Mの中で2秒縮めるということは、かなり難しいことです。

加えて、泳ぎ方の基準も変わりました。泳いでいる最中は水平を保つことが必要となり、これまでの横向きに息つきをする泳ぎ方では失格になってしまうことがわかりました。

当時はがっかりして、メールのやり取りもできなくなるほどでした。

——そこからどのように立ち直ったのですか。

母の言葉が大きかったです。この年末年始に話をする機会があり、「選考まであと1年もないんだから、あなたのやりたいようにやればいいじゃない。」と書いてくれました。

それから、今の自分の状況を色々な人に知ってもらったうえで、悔いのないように「できることをやり尽くそう！」と思えるようになりました。

いくつになっても、母には頼りきりですね。



9月の大会に向けて練習しています！

——普段はどこで練習をしていますか。

立教大学のプールを使って練習しています。健常者と同じプールです。

東久留米市のプールで練習することもあります。

——練習環境について希望することはありますか。

私は幸いにも環境が整っていますが、障害者にとって健常者と一緒に練習することは難しい部分もあります。障害者の練習のためにそのプールの利用時間でコアタイムを設けるなど、練習をしやすい環境になればと思います。

——応援メッセージはどこに送ればいいですか。

Facebookをやっているので、そちらにお願いします。

9月の21日から23日にかけて、横浜国際プールでジャパンパラ水泳競技大会があるので、ぜひ応援に来てください！

わたげの“ちょっといい話”

小山さんが落ち込んでいた頃、気分転換に近所の喫茶店に通いだしたんだって。その後、海外に行っていて半年くらい訪れる機会がなかったんだけど、久しぶりに行ったら店員さんがコーヒーのカップに「welcome back」と書いてくれたんだって。覚えていてくれたことがとても嬉しかったそうだよ。

その店員さんは、大会にも応援に来てくれる仲間なんだとか。

人とのつながりを大切にする、小山さんの一面でした。



次号では、出場したパラリンピックの話や、東京大会への意気込みなどを通して小山さんの人柄により迫っていきます。

理事会・評議員会を開催しました

2019年5月に開催した理事会・評議員会で承認・決定された主な内容を簡単にご紹介します。

2018年度事業報告及び収支決算(下記の内容が承認されました。)

※下記の内容(一部を除く)は、当調査会ホームページ(<http://www.tama-100.or.jp/>)にて閲覧・ダウンロードすることができます。

【事業報告】

1. 調査研究事業

①市町村の広域的・共通課題についての調査研究(5テーマについて調査研究報告書を発行)

基礎自治体におけるAI・RPA活用に関する調査研究

結婚支援を糸口とした少子化対策及び地域活性化に関する調査研究

東京島しょ地域におけるインバウンド拡大策に関する調査研究

多摩・島しょ地域の自治体における内部統制の整備・運用に関する調査研究～信頼される自治体を目指して～

基礎自治体における多文化共生施策に関する調査研究

②市町村職員の身近な疑問等に関する調査

「かゆいところに手が届く!-多摩・島しょ自治体お役立ち情報-」(情報提供誌「自治調査会ニュース・レター」に掲載)

③毎年度実施の調査(4件の調査報告書を発行)

多摩地域データブック2018(平成30)年版

多摩地域ごみ実態調査(平成29年度統計)

市町村財政力分析指標(平成20年度から平成29年度)

市町村税政参考資料(平成20年度から平成29年度)



2. 共同事業

①多摩・島しょ広域連携活動助成事業

②多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成事業

③オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」

④協賛事業「愛らんどリーグ(サッカー大会)」(2018年度は台風で中止)

3. 普及啓発事業

①出張フォーラム実施(調査研究結果の市町村への還元)

②シンポジウム「人口減少・少子高齢化社会を見据えた多摩・島しょ地域自治体における地域戦略としての多文化共生～経済分野と防災分野の取組から～」開催

③情報提供誌「自治調査会 ニュース・レター」発行

④機関紙「ぐるり39 ～自治調査会だより～」発行 等

4. 広域的市民活動への支援(多摩交流センター事業)

①交流の場の提供

②広域的な市民ネットワーク活動等への助成

③生涯学習講座開催(TAMA市民塾との共催)

④多摩地域に関する情報の発信 等

【収支決算】(貸借対照表)

資産の部		負債・正味財産の部	
流動資産	141,965千円	負債の部	39,529千円
固定資産	4,578,381千円	指定正味財産	3,790,000千円
		一般正味財産	890,816千円
合計	4,720,345千円	合計	4,720,345千円

※各数値を四捨五入しているため、表内の数値の合算と合計が一致しないことがあります。



オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村助成事業紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。本助成を活用して多摩・島しょ地域の自治体で実施された事業を紹介します。

かれん

かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。



シーナ



① 武蔵村山市

地球環境保全ポスター・標語コンクール

市内中学校の生徒に対し、環境問題への関心を高め、身近な問題として考えてもらうために、地球環境保全をテーマとしたポスター・標語の作成を毎年依頼しています。

各校から選出された優秀作品をもとに4月にコンクールを開催し、最優秀作品を選出、6月の環境月間中にパネル展を開催し、受賞者を表彰しました。パネル展及び表彰式については、地元のケーブルテレビの取材も受けました。

また、ポスター・標語の最優秀作品をもとに、啓発ポスターを作成し、地球環境保全に対する市民意識の啓発及び高揚を図るため市内各所に掲示しました。

【問合せ先】武蔵村山市 環境課 TEL 042-565-1111



武蔵村山市

Tama

② 多摩市

多摩市版クールシェア事業

国が推進するクールシェアの多摩市版を、2013(平成25)年度から実施しており、本年度は8月1日から8月31日まで実施します。

趣旨に賛同する協賛店舗・施設からの魅力ある来店特典の提供により、市民が自宅のエアコンを消してまちに出掛け、「我慢する」というイメージがある省エネを、楽しみながらお得に推進できる仕組みが多摩市版の特徴です。

地域が一体となって地球温暖化防止に取り組む夏のイベントとして定着しており、2018(平成30)年度は、158の店舗・施設からの協賛と18,224人の市民に参加をいただき、地域経済の活性化にも寄与しています。

【問合せ先】多摩市 環境政策課 TEL 042-338-6831



Tama

多摩市

③ 八丈町

檜立・中之郷・末吉地域花いっぱい運動推進事業

八丈町では、花と緑の町づくりにむけて「花いっぱい運動」を推進しています。

島の南部に位置する檜立・中之郷・末吉の各地域では、自治会が主体となり、道路沿いの花壇やプランターに色鮮やかな四季の花々を植えて、島を訪れる観光客の目を楽しませているほか、各所に植栽されたハイビスカスやヤシの木の手入れも住民が協力して取り組んでおり、地域交流の場となっています。

フリージアやアロエの花など、季節ごとに様々な花が楽しめる、花いっぱいの八丈島へ、皆さんもおじゃりやれ～(いらっしやい)。

【問合せ先】八丈町 住民課 TEL 04996-2-1123





多摩交流センターだより

インターネット
放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催
後援：武蔵野市教育委員会



2019年8・9月開催予定の講座案内

186回

題名

開発技術者は悪人か？

日時 2019年8月8日(木) 14:30から約1時間

講師 小西 義昭 氏 KoPEL小西技術士ラボ代表・博士(工学)・技術士
(機械部門)・(一社)ライフサポート学会顧問

内容 設計者は決まった手順・方法で設計するが、開発者は二番煎じではなく、社会に知る人のいない新製品を作る。常識の枠を離れた製品が目標で、創る技術者本人が「自分は普通の善人」と思い込んでいるに過ぎない。真空・無重力や、高温・高圧・極低温環境のポンプ、といっても数値が変わるだけと考える楽観主義者も、周りの常識と違い過ぎると、体内埋込み用人工心臓などでは返り血を見ることになる。やはり悪人なのだろう。



○受講料 無料(ただし資料代100円)

○メイン会場 多摩交流センター 第2会議室(申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)

○サテライト会場 武蔵野市西久保コミュニティセンター

○ライブ中継・VOD視聴について

多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

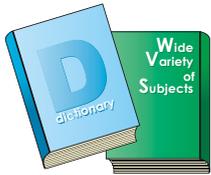
問合せ先 TEL 070-2685-3602(高原) TEL 0422-52-0908(菅原)

※内容については、講師の言葉をそのまま掲載しています。

187回

題名 はじめての“甲骨文”鑑賞～白川^{しずか}静氏の字源(白川文字学)からいにしえを味わう

日時 2019年9月12日(木) 14:30から約1時間 講師 安東^{りん}麟氏(古代文字書家)



特定非営利活動法人

東京雑学大学

2019年9月講義案内

(受講料は会員無料・会員外は9月12日を除き、1回500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第1194回	9月5日(木) 14:00から	人工知能で世の中は どこまで変わるのか	大江 修造 氏 (工学博士・元東京理科大学教授)	武蔵野市西久保コミュニティセンター (JR三鷹駅北口 徒歩7分)
第1195回 ※	9月12日(木) 14:30から	はじめての“甲骨文”鑑賞 ～白川 ^{しずか} 静氏の字源(白川文字学) からいにしえを味わう	安東 ^{りん} 麟 氏 (古代文字書家)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市西久保コミュニティセンター (JR三鷹駅北口 徒歩7分)
第1196回	9月19日(木) 14:00から	認知症患者も“一人の人間”	山本 ^{しづり} 恵外里 氏 (東京都民間カルチャー事業協議会顧問)	小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分・小金井市商工会館3F)
第1197回	9月26日(木) 14:00から	新しい御(時)代における 国語問題	市川 浩 氏 (国語問題協議会常任理事)	小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分・小金井市商工会館3F)

☆申込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

※第1195回は、第187回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。

問合せ先 TEL 042-465-3741(浅田) TEL 0422-52-0908(菅原)

たましん地域文化財団・
東京市町村自治調査会共催

多摩の歴史講座

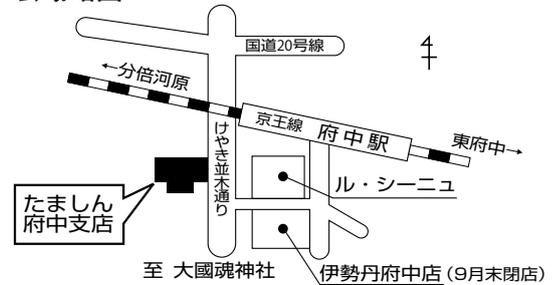
第23回

旧石器時代から縄文時代へ
～環境の変動と人々の適応～

近年、石器の素材や加工方法などから旧石器時代の流通や社会が、また、気候変動と植生の関わりからどのような食材を食べていたのかなどが解明されつつあります。本講座では旧石器時代終末期から縄文時代への移行期に焦点を当て、環境・植生・石器・土器の視点を通して、多摩地域におけるこの時期の状況を、日本、南関東の中で位置づけて解説します。

東京都立埋蔵文化財調査センターでの見学会では、国重要文化財である前田耕地遺跡の出土品を解説付きで見学します。

〈会場略図〉



第1講

9月20日(金) 13:30~15:30

「旧石器時代から縄文時代移行期の気候変動、環境、植生」

講師：工藤 雄一郎 氏 (学習院女子大学国際文化交流学部准教授)

第2講

10月11日(金) 13:30~15:30 ※第1講から3週間後です。ご注意ください

「旧石器時代から縄文時代への移行期はどのような時代か」

講師：佐藤 宏之 氏 (東京大学大学院人文社会系研究科教授)

第3講

10月25日(金) 13:30~15:30

「狩りの道具の変化からみえる動物資源への適応」

講師：橋詰 潤 氏 (新潟県立歴史博物館主任研究員)

第4講

11月8日(金) 13:30~15:30

「土器出現と縄文文化の胎動」

講師：谷口 康浩 氏 (国学院大学文学部教授)

第5講

11月22日(金) 13:30~16:00

見学会「国重要文化財・あきる野市前田耕地遺跡の縄文時代早創期出土品をみる」

講師：尾田 識好 氏 (東京都教育庁地域教育支援部管理課主事)

会場：東京都立埋蔵文化財調査センター (多摩市落合1-14-2)

■場 所 多摩信用金庫府中支店4F会議室(京王線府中駅南口2分)
第5講のみ東京都立埋蔵文化財調査センター(小田急・京王多摩センター駅より徒歩7分、多摩都市モノレール多摩センター駅より徒歩10分)

■参加費 無料

■申込方法 記入例を参考に往復ハガキでお一人様1枚でお申込みください。

■申込締切 2019年9月4日(水) 当日消印有効

■定 員 100名(定員を超えた場合抽選となります。)

■申 込 先 〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第二庁舎6F
多摩交流センター内「多摩の歴史講座」係

■お問合せ 《講座内容について》たましん地域文化財団 TEL 042-574-1360
《お申込みについて》多摩交流センター TEL 042-335-0100

〈はがき記入例〉



TAMA市民塾 市民講師募集!

【募集期間】

2019年8月1日(木) ~ 9月17日(火)

応募資格 原則として多摩地区に在住・在勤・在学の方。複数の講師による講座の開催も可。

講座内容 「講座はコミュニティ」を目指す内容であれば、分野は問いません。

(特定の政党・宗教・営利活動にかかわる企画・内容は応募不可)

開講場所 原則として、多摩交流センター会議室を使用

開講期間 6ヶ月コース(月1回×6ヶ月と月2回×6ヶ月)または、10ヶ月コース(月2回×10ヶ月)

開講時期 2020年10月から2022年9月までを予定

選考方法 TAMA市民塾にて、一次審査(書類)、二次審査(面談)により厳正に選考します。

応募方法 公民館・市民センター等の公共施設に備えられている「市民講師募集案内」の応募用紙に必要事項を記入のうえ、郵送か直接提出してください。

詳しくは、「市民講師募集案内」または当調査会ホームページをご覧ください。

ふるって応募ください!



問合せ・提出先 〒183-0056 府中市寿町1-5-1府中駅北第2庁舎6F
多摩交流センター内 「TAMA市民塾」市民講師募集係
TEL 042-335-0111(土・日・祝を除く9:00~16:00)

共催：TAMA市民塾・(公財) 東京市町村自治調査会

広域的市民ネットワーク活動助成事業紹介

第3回多摩地区26市町対抗囲碁団体戦

実施日 2019年9月1日(日) 10:00~18:00

場所 調布市文化会館 たづくり 1Fむらさきホール・12F大会議室など
(京王線調布駅下車徒歩3分)

内容 多摩地区26市町の囲碁愛好者の皆さんが、各市(チーム11人構成)対抗の囲碁対局を行います。参加選手は老若男女幅広い交流を図ります。また、棋力も無差別、高段者、低段者や級位者など幅広い層とし囲碁普及へ繋がります。同時に日本棋院高尾紳路九段(元本因坊)や上野愛咲美・女流棋聖などによる指導碁も行います。囲碁文化継承を目指す囲碁への情熱をもったボランティア活動による、多摩地区420万市民の横断的なイベントです。一般観客の方も参加できる優勝チーム予想クイズもあり、囲碁にちなんだ賞品もご用意しています。出場選手への応援をお願いします。

参加費 観戦・見学は無料

主催 多摩地区市対抗囲碁団体戦実行委員会

問合せ 多摩地区市対抗囲碁団体戦実行委員会事務局
TEL:080-2210-5214 担当 笹田
E-mail:s.sasada.9521sa@gf7.so-net.ne.jp



檜原村 郷土芸能お祭り見学会

実施日 ①2019年8月31日(土) 11:10~16:00頃 ②2019年9月7日(土) 18:40~23:00頃
③2019年9月14日(土) 18:40~23:00頃

(いずれも祭り主催者等の都合により変更の可能性あり、詳しくは下記問合せ先へ。)

場所 檜原村各集落の祭り会場

(集合・解散は「檜原村教育の森」もしくは「レストラン四季の里」)

内容 ①三匹獅子舞 ②小沢式三番 ③未定

都指定の無形民俗文化財にもなっている、檜原村の郷土芸能に触れる見学会を開催します。(※②・③は終了が深夜になりますのでご注意ください。)

参加費 4,000~6,000円(開催日により異なる)※②・③の終了後に宿泊を希望される場合は別途4,000円

主催 檜原学芸社

問合せ 檜原学芸社 担当 熊野・小澤
TEL:042-598-6928(NPO法人フジの森 内)
E-mail:hinozara-gakugeisha@outlook.jp



「多摩交流センターだより」の問合せ先

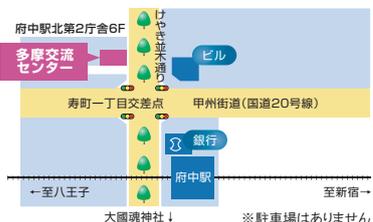
(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆ 多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。





ちょっと一息

とっておきの島しょの土産



みくらしま
御蔵島



御蔵の源水

島の周辺に生息するイルカと泳げることで知られる御蔵島には、手つかずの自然が広がっているよ。原生林の広がる島の奥深くの水源より汲み上げた天然水を、名水「御蔵の源水」として販売しているんだ。軟水でまったくクセがなく、まろやかな味わいだよ。



黄楊の箸

御蔵島は古くから黄楊の産地として知られていて、これを利用した小物細工などの工芸品を多く作っているよ。黄楊は木質がとても緻密で独特の風合いがあるんだ。東京愛らんどでは、黄楊を加工した箸を販売しているよ。

今回紹介したお土産は、竹芝客船ターミナル内のアンテナショップ「東京愛らんど」(最寄駅はJR浜松町駅ほか)で販売しているから、ぜひ見てみてね。

東京愛らんどホームページ(<https://www.tokyoislands-net.jp/>)でも、通信販売しているよ。

[情報提供] 公益財団法人 東京都島しょ振興公社 TEL 03-5472-6546



編集後記

- 8月に入り、暑い日が続いています。例年、梅雨が明ける7月下旬から8月は、35℃以上の猛暑日が多くなることから、熱中症にかかる人が急激に増加します。梅雨明け後に記録的な暑さに見舞われた昨年は、過去最多の患者数となりました。
- 8月は、旧盆で帰省する方や海・山のレジャーなどで、炎天下の中、家族連れで出かける機会も増えることから注意が必要です。熱中症を防ぐには、熱中症について正しい知識を身につけることが重要です。
- 熱中症は、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調整がうまく働かなくなり、体内の熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内で何もしていなくても発症します。熱中症患者のおよ半数は、65歳以上の高齢者となっています。これは、暑さや水分不足に対する感覚機能や暑さに対するからだの調整機能が低下しているためです。また、体温の調節能力がまだ十分に発達していない子どもにも気を配ることが大切です。
- 「めまい」、「立ちくらみ」、「手足のしびれ」といった軽度の症状から、「頭痛」、「吐き気」、「嘔吐」などの中度の症状、重症の場合「返事がおかしい」、「意識消失」、「けいれん」などの症状が現れます。熱中症に発症した場合は、「涼しい場所へ避難させる」、「からだを冷やす」、「水分補給」などの措置や重度の場合は救急車を呼ぶ必要があります。
- 熱中症を予防するには、食事や運動による日ごとの体調管理をはじめ、室内では扇風機やエアコンで温度を調整、外出時には、日傘や帽子を着用することや日陰の利用、のどの渇きを感じなくてもこまめに水分を補給するなど、高温多湿な環境を防ぎ、体の水分を保つことが重要となります。中でも環境省は、「日傘」の活用を推進しています。日傘を使って強い日差しから体を守ると、汗の量が約17%減るとの報告がされています。また、環境省のHPでは、熱中症を予防することを目的とする指標「暑さ指数(WBGT)」を公表しており、熱中症予防の目安に役立てていくことができます。
- 先日、当調査会が実施している、「気候変動への適応策に関する調査研究」の一環として、適応策の先進事例視察のために、大阪府や大阪市などを訪ねてきました。その中で、クールスポット創出や緑化・緑陰形成などのハード面の取組のほか、記録的な猛暑となった昨年の経験を活かし、住民に対して、官民が協力し熱中症対策を盛り込んだリーフレット配布やイベント開催を中心に、今後も啓発活動に取り組んでいくことを強調されており、その重要性を再認識しました。今後、地域住民等への適応策の普及に向けた取組の検討に活かしていきたいと考えています。
- 一人ひとりが熱中症の知識を身につけ実行することは、個人でできる気候変動への適応策としてとても大切です。熱中症の知識を深め、暑い夏を乗り切りましょう。

(K, K)

とっておきフォトスポット

第20回 御蔵島村

きれいな景色やおもしろいものを見つけたら、写真を撮りたくなるよね。

今回はわたげのボクが「白滝」と「御代ヶ池」を紹介するよ。



しらたき
白滝

@WATAGE



島の西側に位置する白滝は、水が豊富な御蔵島の象徴だよ。ドルフィンスイムのツアーなどで船上から見ることができるよ。

縄文時代から人が住み着いていた御蔵島には、この他にも旧跡や史跡がたくさんあるんだ。特に、江戸時代、外国人480人を救助した黒船バイキング号記念碑(表紙)は、一見の価値あり。観光資料館で資料や情報を入手してから散策するのがオススメだよ。



みよがいけ
御代ヶ池

@WATAGE



ここが島とは思えないような原始の森にひっそりと佇む御代ヶ池は、約5、6千年前の噴火で出来たとされるせき止め湖なんだ。長い年月をかけて苔むした歩道からは、天然記念物のツゲの木や固有種のニオイエビネランが見られるよ。原生林に囲まれた周囲約400mの池の後方には長滝山が聳え、風のない時はそれが湖面に映り絶景なんだ。新東京百景に選ばれたのも納得だね。

[現地案内]

◎御蔵島へのアクセス

《航路》

竹芝桟橋から大型客船で約7時間30分

《空路》

[大島経由]

調布飛行場～大島空港 約25分

大島空港～御蔵島 約35分

[八丈島経由]

羽田空港～八丈島空港 約55分

八丈島空港～御蔵島 約25分

[情報・写真提供]

御蔵島村総務課

TEL 04994-8-2121



写真を撮るときは、周囲の状況をよく確認し、柵を越えたり立ち入り禁止区域に入ったりするなど、マナー違反にならないようにね!

注意

【発行日】2019年8月1日

【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会

【責任者】小暮実

〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/> (本紙のバックナンバーをご覧ください。)



再生紙を利用しています。